

《企業紹介》

同社は1997年にサオマイ・アンザン建設投資株式会社として創業した。ベトナム南部メコンデルタ地方のアンザン省（ホーチミン南西約200キロのカンボジアと国境を接する省）を地盤として交通網や灌漑施設といったインフラ建設及び不動産開発を祖業としている。2003年に国際投資開発（IDI）を設立してチャ魚の輸出を中心とする水産物事業へ進出、同社を大手の一角に育て上げた。2013年から2016年にかけて旅行関連企業の買収によりホテル運営を含めた観光事業を立ち上げている。2016年には太陽光発電事業へ進出している。2024年12月期の売上高構成比は水産物事業（養殖用飼料販売を含む）が57%を占めているが、粗利益構成比は水産物事業が45%、太陽光発電事業が41%となっている。

《2025年1-3月期業績》

2025年1-3月期の売上高は前年同期比6.5%増の2.7兆VND（ベトナムドン）だった。米国の関税引き上げ前の駆け込み需要による影響はみられず、水産物輸出の売上高は同7.7%減の6,066億VNDとなったが、養殖用飼料が前年同期の落ち込みの反動で同32.4%増の1.0兆VNDとなり、増収を確保した。一方、粗利益率が同1.3%ポイント低下の11.3%となったことから、粗利益は同4.5%減の3,062億VNDと減少している。粗利益率の悪化は、養殖用飼料の粗利益率が競争激化によって低下したためである。水産物輸出や不動産などの粗利益率は改善したが及ばなかった。

営業利益は同46.9%減の437億VNDとなった。粗利益の減少に対して、金融費用が同8.5%増の1,324億VND、販売費が同0.6%増の447億VND、一般管理費が同18.8%増の853億VNDと、主要費用項目がいずれも増加したことが響いた。税引前利益は同41.7%減の495億VNDとなった。税引後利益は少数株主持分控除額の増加によって同72.9%減の159億VNDとなった。

同社は2025年12月期の業績について、売上高を前期比13.2%増の13.6兆VND、税引後利益（少数株主持分控除前）を同178.9%増の7,000億VNDと計画している。2025年1-3月期実績の進捗率は売上高が20%、税引後利益（同）が5%となっている。事業環境は依然として厳しく、特に採算面では会社想定を超える厳しい状況が続いているとみられる。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2024年1-3月期		2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期	
	前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)	
売上高	2,548.5	-24.5	3,375.7	3.7	3,219.3	12.0	2,866.3	2.8	2,715.1	6.5
粗利益	320.6	-18.4	392.9	1.4	344.7	13.1	319.1	16.6	306.2	-4.5
粗利益率(%)	12.6	0.7	11.6	-0.3	10.7	0.1	11.1	1.3	11.3	-1.3
金融費用(マイナスは収入)	122.0	-15.3	144.1	-12.0	136.5	22.0	124.3	11.8	132.4	8.5
販売費	44.5	-18.3	54.4	51.0	56.4	58.2	63.5	35.0	44.7	0.6
一般管理費	71.7	0.4	71.5	2.7	56.2	-22.5	96.8	11.4	85.3	18.8
営業利益	82.4	-32.9	122.9	4.1	95.6	13.0	34.5	21.0	43.7	-46.9
税引前利益	84.9	-30.9	122.9	3.7	87.9	15.6	18.9	-34.1	49.5	-41.7
親会社株主帰属の税引後利益	58.5	-33.4	87.8	9.1	49.4	8.8	-13.4	赤字化	15.9	-72.9

出所 各種資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250508

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

サオマイグループ(ASM)

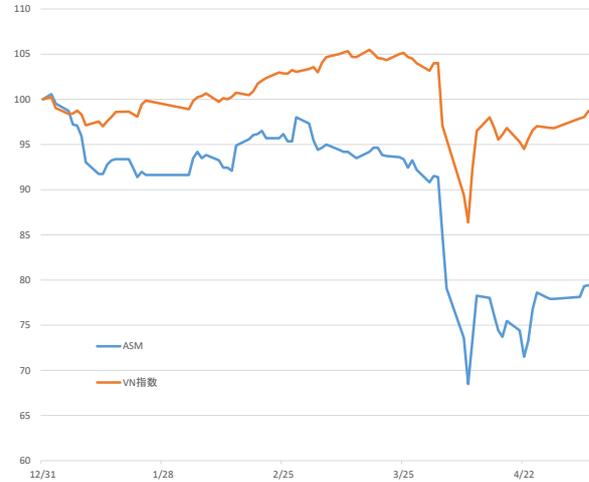


《株価の推移》

同社の株価とVN指数について、2024年12月終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は年初から一貫してVN指数をアンダーパフォームしている。5月7日終値ベースでは、VN指数が2024年末比1%の下落となっているのに対し、同社の株価は21%の下落となっている。5月7日の終値6,830VNDで計算した時価総額は2.5兆VNDであり、これは2024年12月期の税引後利益の実績1,829億VNDに対して約14倍の水準となっている。

パフォーマンス低迷の要因は業績成長の牽引役が不明確になっている点だろう。水産物事業の売上高は停滞しており、成長が期待されていた太陽光発電事業の伸び悩みが顕著になっている(2025年1-3月期の太陽光発電事業の売上高は前年同期比1.5%減の2,040億VND、売上高構成比は8%)。既存事業、或いは新規事業を含めて、中長期的な業績成長の期待を再構築しなければ、株価パフォーマンスの改善が期待できない状況にあるといえよう。

図表2 株価推移



出所 各種価格データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250508

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。